

産業構造審議会 産業技術環境分科会 産業環境対策小委員会（第5回）-議事要旨

日時：平成29年3月23日（木曜日）10時00分～12時00分

場所：経済産業省本館17階東8第1～第3共用会議室

出席者

東海小委員長、漆原委員、大石委員、亀屋委員、佐藤委員、白石委員、高橋委員、竹内委員、土井委員、服部委員、原田委員、春山委員、東野委員、馬奈木委員、光成委員、山崎委員、酒井氏（根本委員代理）、中村オブザーバー

議題

- 揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況
- 水銀の 대기排出抑制に関する取組状況
- その他の産業環境対策に関する取組状況

議事概要

1. 揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組の状況

事務局から資料2及び参考資料4を、馬奈木委員から参考資料5をそれぞれ説明し、質疑を行った。委員からは主に次のような発言があった。

- 自主的取組の対象業種増大を歓迎する。こうした取組を今後も続けてほしい。
- VOCは国内だけの問題ではなく、海外へも目を向けていく必要がある。
- 製造段階から使用実態までトータルでみていく必要がある。
- VOCは労働環境にも影響あるので、継続的に削減してほしい。
- 屋外塗装でのVOC排出抑制のため、水性塗料のJIS化を積極的に進めてほしい。
- 政府主導で日本の技術をベストプラクティスとして宣伝して欲しい。
- 企業の参加割合が多い団体の方が、削減率が高いと思われるので、なるべく多くの企業に参加いただくようにしてほしい。
- 消費者側からの排出量も多いため、消費者への製品情報の伝え方をどう進めるかも議論が必要である。

2. 水銀の 대기排出抑制に関する取組状況

事務局から資料3-1を、オブザーバーとして参加いただいた日本鉄鋼連盟中村様から資料3-2をそれぞれ説明し、質疑を行った。委員からは主に次のような発言があった。

- ロシア等諸外国で我が国と比べ水銀の排出係数が高い国があるが、原因を精査いただきたい。
- 日本鉄鋼連盟会員以外の対象施設についても対策が必要である。

3. その他の産業環境対策に関する取組状況

事務局から資料4を説明し、質疑を行った。委員からは主に次のような発言があった。

- 土対法改正案は、中小企業への経済的影響あり。具体的な制度設計に関しては、産業界の意見も踏まえるべき。
- 経済活動と環境保全活動とのバランスをとってほしい。
- 土対法は、土地の有効利用を阻害しないようなかたちでの運用することが大切である。

- PCB廃棄物については、合理的処理が出来るような方策の検討作業を迅速に進めるべき。
- 各種基準を作成した際には、わかりやすい説明が大事。

以上

関連リンク

[産業構造審議会 産業技術環境分科会 産業環境対策小委員会の開催状況](#)

お問合せ先

産業技術環境局 環境指導室

電話：03-3501-4665

FAX：03-3580-6329

最終更新日：2017年3月29日